

# 京都・彼岸山のバードバスに飛来した鳥たちの四季

中島 拓 (Honey Woods / 株式会社地域環境計画)

## 目的

森には人の想像を超えるほど多くの生き物が生息している。自動撮影カメラを使うと、毎日連続して機械的にデータを取得するため、生き物たちの意外な姿が記録されていることも稀ではない。森のバードバスを利用する鳥たちの利用実態を知るため、興味本位で自動撮影カメラを設置してみた。

今回の報告では、バードバスに飛来する鳥たちの種類や利用頻度から、森を利用している鳥類相を明らかにするとともに、鳥たちの季節変化や生活実態の一端に迫ろうとした。

## 方法

調査地は、京都府亀岡市千歳町の彼岸山である。

2022年1月17日～2023年11月11日(664日間のうち、記録541日、欠測123日)、バードバスに赤外線センサーを搭載した自動撮影カメラを設置し、24時間連続で稼働させた。

撮影された写真をもとに、種名、個体数、日時を記録した。時系列で個体が変わった場合は全て、同一個体の可能性がある場合、3分以上間隔が空いた場合に記録した。



写真1 バードバスに設置した自動撮影装置

## 結果と考察

### ■確認された鳥類

およそ2年の観察により確認された鳥類は、31種(のべ4,333個体)であった。季節別の確認種数は春季(3月～5月)が26種ともっとも多く、次いで冬季(12月～2月)と夏季(6月～8月)が同数の15種、秋季(9月～11月)が14種であった。春季は冬鳥と夏鳥が交錯する時期でもあり、加えて、渡り途中の個体が一時的に確認され、結果的に種数が多くなったと考えられる。

最も個体数が多かったのはヤマガラ(1.91個体/日)、次いでキビタキ(1.31個体/日)、ヒヨドリ(1.28個体/日)の順であった。カルガモ、アオバズク、キバシリ、ミソサザイ、クロツグミ、クロジは1回限りしか確認されなかった(次ページ表1参照)。

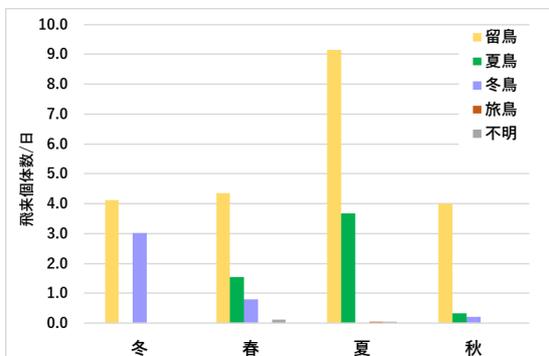


図1 季節別の飛来個体数

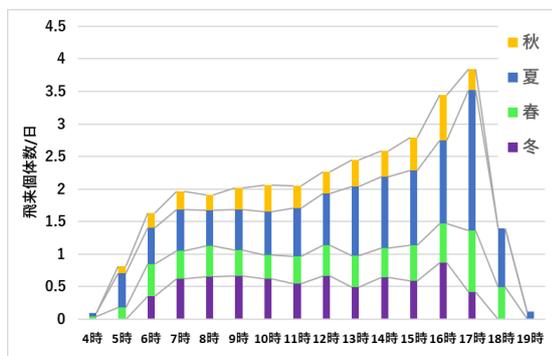


図2 時間帯別の飛来個体数

### ■季節別の飛来個体数

飛来個体数は夏が突出して多かった。夏に飛来個体数が多い要因として、周辺の繁殖地で巣立った幼鳥の加入が大きいと考えられる。

一方、春季と秋季は留鳥以外の飛来個体数が少なく、場所が定まっているバードバスを覚えた定着個体の利用する頻度が相対的に高いのかもしれない（前ページ図1参照）。

### ■時間帯別の飛来個体数

飛来時間帯は、夜明け頃から日没頃までで、夜明け後から急激に飛来個体数が多くなり、日没前にピークとなった。季節によって夜明けと日没の時刻が異なるが、季節別にみても概ねこの傾向は類似していた（前ページ図2参照）。

特に夏季の17時台は多くの個体が飛来した。このうちの約6割はヤマガラとキビタキに占められており、両種が入れ替わり立ち替わりやってきた。

種が特定できた個体でもっとも早い飛来は、アオバズク（6月28日4:37）で、最も遅い飛来はキビタキ（6月29日19:26）であった。

注：表中では、一日あたり1個体以上確認された箇所を赤で、0.01個体未満を青で着色した。

表1 確認種と一日あたりの飛来個体数

No.	種名	渡り 区分	季節				全期
			冬	春	夏	秋	
1	カルガモ	留鳥		<0.01			<0.01
2	キジバト	留鳥		<0.01			<0.01
3	アオバト	留鳥	0.02				0.01
4	アオバズク	夏鳥			<0.01		<0.01
5	モズ	留鳥	0.02				<0.01
6	カケス	留鳥	0.23	0.16		0.44	0.19
7	ハシブトガラス	留鳥		0.01			<0.01
8	ヤマガラ	留鳥	0.55	1.66	3.27	2.31	1.91
9	ヒガラ	留鳥	0.09	0.01			0.03
10	シジュウカラ	留鳥	0.77	0.46	1.66	0.87	0.91
11	ヒヨドリ	留鳥	1.49	1.26	1.90	0.20	1.28
12	ウグイス	留鳥	0.08	0.04	0.10	0.04	0.06
13	ヤブサメ	夏鳥		<0.01	<0.01		<0.01
14	エナガ	留鳥		0.13	<0.01		0.04
15	エゾムシクイ	旅鳥		<0.01	0.05	0.02	0.02
16	センダイムシクイ	夏鳥		0.11	0.04		0.04
17	メジロ	留鳥	0.77	0.59	1.96	0.14	0.90
18	キバシリ	留鳥		<0.01			<0.01
19	ミンサザイ	留鳥			<0.01		<0.01
20	トラツグミ	留鳥	0.08	0.01			0.02
21	クロツグミ	夏鳥		<0.01			<0.01
22	シロハラ	冬鳥	1.25	0.49		0.08	0.48
23	ルリビタキ	冬鳥	1.27	0.17		0.07	0.38
24	ジョウビタキ	冬鳥	0.23	0.09		0.05	0.10
25	コサメビタキ	夏鳥			0.04		<0.01
26	キビタキ	夏鳥		1.19	3.47	0.33	1.31
27	オオルリ	夏鳥		0.23	0.11	<0.01	0.10
28	ミヤマホオジロ	冬鳥	0.26	0.02		<0.01	0.07
29	アオジ	冬鳥		0.01			<0.01
30	クロジ	冬鳥		<0.01			<0.01
31	ソウシチョウ	留鳥	0.04	<0.01	0.23	0.02	0.07
-	同定できず	-	0.02	0.11	0.04	0.02	0.05
種数			15種	26種	15種	14種	31種
飛来個体数			7.17	6.80	12.90	4.59	8.01



写真2 アオバズク



写真3 キバシリ



写真4 クロツグミ